

文書質問

上記の件について、嬉野市議会基本条例第7条第1項第3号の規定により提出する。

令和5年6月22日 提出

嬉野市議会議長 辻 浩一 様

提出者 嬉野市議会議員（議席番号3番） 古川 英子

（質問事項）

人口減少及び児童数減少下における、学校施設長寿命化計画について

（質問の要旨）

- ① 国立社会保障・人口問題研究所が公表している将来推計人口によると2045年には嬉野市の人口が17,715人という予想になっている。人口減少の対策を伺う
- ② 2045年には子供数の減少により7つの小学校の1学年が約130名になると予想されている。各学校の建築年数も経過し、対象すべての学校に長寿化計画を考えているか伺う。
- ③ 他市町では学校の統廃合が行われているが市長・教育長としての考えはいかがか

（質問事項）

嬉野市の奨学金について

（質問の要旨）

- ① 嬉野市の奨学金の支給人数と金額、返済状況を伺う
- ② 卒業後に市町に戻り居住することを条件に奨学金の返済免除を行っている市町がある。嬉野市として人口減少の歯止めの一つとして取り組むことができないか伺う

（質問事項）

高齢者の避難行動要支援者の個別計画書について

（質問の要旨）

- ① 個別計画書は介護認定を受けている高齢者のみに計画するものか伺う
- ② 介護認定を受けていない、高齢者の独居及び夫婦の個別避難計画書について、各行政区内で行政区長の指示のもと民生委員が個別避難計画書（裏面あり）

を作成できないだろうか伺う。

- ③ 昨年 12 月議会に於いて、市長より高齢者の 1 人暮らしで、家族と同居でも世帯分離されているなどで、状況把握は全てできてはいないとの返答があった。民生委員は担当地区での高齢者の把握はできている。嬉野市の避難行動対象者には市及び避難支援等関係者が支援の必要を認められた方の記載がある。高齢者の避難行動ができたかの確認のためにも介護認定を受けていない高齢者の避難行動計画書を作成するべきではないか伺う。